

レジャー・レクリエーションと地域文化

—英国のレジャー・レクリエーション政策研究の立場から—

明治大学 寺島善一

- 1 英国のレジャー・レクリエーション政策
 - a レジャー・レクリエーションの「私事性」から「公共性」「普遍性」へ
 - b 「政治」とレジャー・レクリエーション —権力の「介入」「規制」「奨励」
 - c 「社会福祉」「社会政策」「都市計画」とレジャー・レクリエーション

- 2 英国におけるレジャー・レクリエーションと「地域文化」「世代間交流」
 - a 地域社会の憩いの場としての<プレイングフィールド><公園><コモン>
 - b 地域社会の日常生活の中に身体活動を <レジャーセンター>
—政府・地方自治体 etc の行政・財政的援助のもとで—
 - c 自然と歴史的建造物の保護・保全とナショナルトラスト運動
—ボランティア活動・寄付活動の支えによって—
 - d 地域団結・交流の場としての<スポーツクラブ>
ex **Football club** は地域社会の結合の場
 - e 地域住民の交流の場としての<パブ>
—パブへ行けば仲間に出会える—

- 3 英国における レジャー・レクリエーションについての検討課題
 - a レジャー・レクリエーションと「小さな政府」論、「市場原理」、「民営化」
 - b レジャー・レクリエーションと「政府」「地方自治体」の援助
 - c レジャー・レクリエーションと自主的・自発的活動（ボランティア）

- 4 英国における レジャー・レクリエーションの今後の課題
“A Sporting Future for All” に見る今後の課題
 - a **Lifelong Participation** の **Key** としての<Playing Field>
 - b 地方自治体のスポーツ施設建設・維持管理
 - c スポーツ発展と地域結合
 - d スポーツの発展とスポーツクラブの役割
 - f 地域社会のレジャー・レクリエーションと学校施設の結合